



不登校支援研修会・病弱教育部公開授業への 御参加ありがとうございました。

11月8日、本校で「不登校支援研修会」を実施しました。研修会に先立ち、病弱教育部公開授業を行いました。府内の小中高等学校、特別支援学校教員、福祉関係からも幅広く参加者がありました。

第1部

病弱教育部の「自立活動の時間」(運動を通してコミュニケーションの力を高めよう)の公開授業に外部から28名の参観がありました。



気持ちを合わせてボール回し



リラクゼーション

「導入から終了まで、しっかりと組まれたプログラム、具体的指示の中で子どもたちにはわかりやすく、子どもたちが考えながら協力して、生き生きと活動している姿が印象的でした」などの感想が寄せられました。

第2部

「不登校支援研修会」では、外部から51名の参加がありました。

テーマ

『不登校中学生の支援の実際』～通級指導教室の取組を通して～

講師

本校精神科校医 地域支援センター「サポートJOYO」巡回相談員 有賀 やよい 氏



今年度から本校病弱教育部で取り組み始めた「通級による指導」の事例を通して、発達障害等を背景とした不登校生徒の自己肯定感を上げ、自信をはくむ支援の在り方や、保護者への支援、医療との連携などについて報告しました。

本校精神科校医の有賀やよい氏からは、医療機関と学校がどう連携し、二次的な障害や保護者支援をどう進めるかについて助言していただきました。

【参加者の感想から】

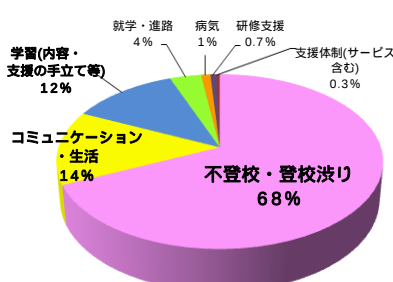
- ・医療と連携した不登校支援の大切さ、道筋が理解できました。〈小学校〉
- ・各部所の方々が来られていて、多面的な意見が聞けて良かった。
有賀Dr.には、回答をいただき、とても参考になりました。〈中学校〉
- ・不登校生徒の早期発見と、どんな支援事業(居場所)が必要か探っている中、研修会に参加し、多くの行政、教育、事業所の方が問題視し、同じ方向で考えられることを知りました。〈地域相談事業所〉



「サポートJOYO」相談状況

今年度11月末までの相談状況をみると、相談内容では、不登校・登校渋りに関わる相談が7割近くを占めています。昨年度に比べて、特に中学生の相談が増加しており、本校病弱教育部や病弱通級指導教室との連携もさらに増えてきています。

【相談内容】



【相談対象】

